



DIGITAL RECEIVER AR-DV10

簡易取扱説明書

目次

はじめに.....	2	基本操作 4.....	11
同梱品		スケルチ調整	
注意事項		録音	
各部名称.....	3	V F Oモードで受信する.....	12
お使いになる前に 1.....	4	特定小電力無線を受信する	
バッテリーパックの取り付け		プリセットメモリーで受信する 1.....	13
乾電池を使用する		FM 放送を受信する	
お使いになる前に 2.....	5	VHF 帯工アークバンドをサーチする	
バッテリーパックを充電する		プリセットメモリーで受信する 2.....	14
自動車で使用する		デジタル簡易無線（登録局）をサーチする	
お使いになる前に 3.....	6	プリセットメモリーで受信する 3.....	15
アンテナの接続		盗聴器をスキャンする	
SD カードスロット		メモリーチャンネル.....	16
お使いになる前に 4.....	7	メモリーチャンネルを登録する	
イヤホン端子		ショートカット機能.....	17
mini USB 端子		ショートカットを登録する	
基本操作 1.....	8	ショートカットを使用する	
電源を入れる		プリセットメモリーデータ（出荷時データ）.....	18
電源を切る		サーチデータ	
日時設定		メモリーチャンネル	
基本操作 2.....	9		
コンフィグメニュー			
基本操作 3.....	10		
音量調整			
オートモード			

はじめに

同梱品

- AR-DV10 本体
- AC アダプタ
- DC アダプタ（シガレット電源用）
- 急速充電台
- 乾電池トレイ
- リチウムイオンバッテリーパック
- ベルトクリップ、固定ネジ×2 個付き
- アンテナ
- SD カード
- 取扱説明書
- 保証書

注意事項

受信した内容について

電波法第 59 条で「特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受してその存在若しくは内容を漏らし、またはこれを窃用してはならない」と通信の秘密に関して定められています。お客様の受信した通信の内容は、電波法上、内容または存在を第三者へ漏らしたり、そのことによる行動を起こしたりすることが禁止されています。

防水性能 IPX5 相当について

IPX5（防噴流形）とは、あらゆる方向からの噴流水に対して保護するものです。

完全防水ではないため水中に浸すことは故障の原因となります。

バッテリーパックや乾電池トレイはゴムバッキンにゴミ等の付着や破損等が無い事を確認して確実にロックしてください。各端子のゴムキャップは奥まで差し込まれていることを確認してください。

本機の防水性能は、当社試験方法によるもので防水性能を保証するものではありません。

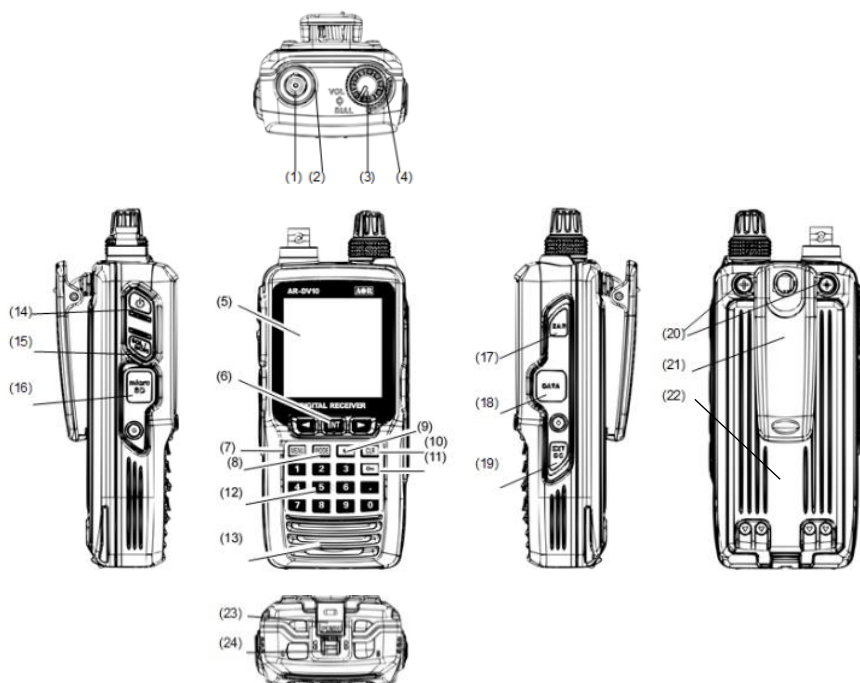
D-STAR は一般社団法人日本アマチュア無線連盟の登録商標です。NXDN はアイコム株式会社および株式会社ケンウッドの登録商標です。その他本紙に記載されている会社名および商品名は、各社の登録商標です。

ファームウェアの更新により、機能改善の結果、取扱説明書と差異が生じる場合がございます。この場合には最新ファームウェアの動作を優先とさせていただきます。ファームウェアの更新は強制するものではありません、ダウンロードページに記載の注意事項をよくお読みいただきご判断をお願いいたします。

その他注意事項について

取扱説明書に記載の「安全上のご注意 ご使用前に必ずお読みください」をご覧ください。

各部名称



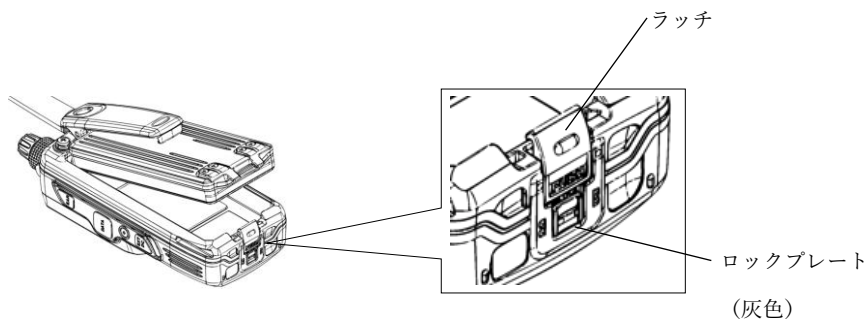
(1)	アンテナ端子 (BNC 型)
(2)	アンテナカラー (ゴム製)
(3)	音量つまみ
(4)	ダイヤル
(5)	液晶画面 (白色バックライト)
(6)	カーソルキー・ENT キー
(7)	MENU キー メニュー画面表示
(8)	MODE キー モード画面表示
(9)	録音キー 録音開始/停止
(10)	CLR キー 操作中: 各種キャンセル、 サーチ/スキャン停止時: 周波 数パス登録/解除
(11)	キーロック (長押し) ・一回押しでショートカット機能
(12)	10 キー 周波数入力や項目選択

(13)	内蔵スピーカー
(14)	電源スイッチ ・電源入れる (押す) ・電源を切る (長押し) ・DCR モード時 秘話解析
(15)	SQL / MONI キー
(16)	microSD カードスロット
(17)	イヤホン端子 (ステレオ)
(18)	DATA 端子 (miniUSB)
(19)	外部電源 (EIAJ#2)
(20)	ベルトクリップねじ
(21)	ベルトクリップ
(22)	バッテリーパック
(23)	バッテリーラッチ
(24)	ロックプレート

お使いになる前に 1

バッテリーパックの取り付け

- ① 上下の向きを確認して、図の様に上部から先に差し込みます。
- ② 下部のラッチがかかるまで押し込んでください。



取り外す場合はラッチの[PUSH]部を押してください。

底部のロックプレートでラッチを LOCK / UNLOCK することができます。

⚠ 注意

取り付けの際に防水パッキンが正しく装着されていることを確認してください。
正しく装着されていないと、ゴムパッキンの破損や、防水性能が発揮できなくなります。

乾電池を使用する

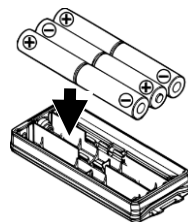
乾電池トレイを使用することで、市販の単三型アルカリ乾電池 6 本で使用することができます。

上記バッテリーパックと同じ要領で取り付けしてください。

💡 本機に AC アダプタを接続しても充電されません。

💡 ニッケル水素等の二次電池は使用できません。

💡 電池の液漏れによる損傷を防ぐため、長期間使用しない場合は乾電池を外して保管してください。



お使いになる前に 2

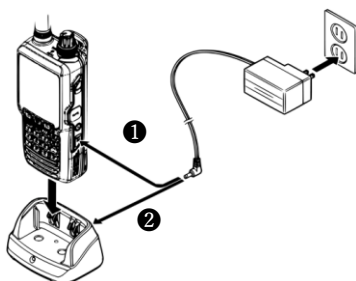
バッテリーパックを充電する

❶ AC アダプタを本体に接続する。

または

❷ 急速充電台を使用して充電する

ことができます。



充電時間の目安		使用時間の目安
AC アダプタを本体に 直接接続して充電する場合❶	満充電：約 11～12 時間 90%充電：約 8～9 時間	約 6 時間 連続受信 音量 40% パワーセーブ機能 OFF 時
急速充電台で充電する場合❷	満充電：約 6～7 時間	

💡 バッテリーパックが過放電した場合

急速充電台では LED が赤色点滅となり充電することができない場合があります。

❶の方法でしばらく充電することで改善します。

それでも改善しない場合は新しいバッテリーパックに交換してください。

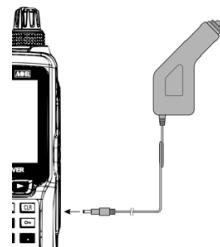
自動車で使用する（充電する）

付属の DC-DC アダプタを使用することで、
自動車のシガレットから電源を供給できます。

右図の様に本機の EXT DC へ接続します。

💡 12V/24V 車対応です。

💡 急速充電台を使用する場合は、運転に支障の無い様に設置してください。



お使いになる前に 3

アンテナの接続

垂直に差し込み、時計方向に回すとロックがかかります

外す場合は、反時計方向に回すとロックが外れ、垂直に抜くことができます。

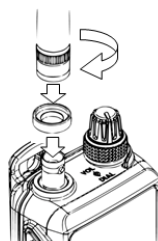
💡 付属のアンテナは主に VHF 帯に同調しています。

受信する周波数に対応したアンテナを使用することで受信特性がさらに向上します。

💡 中波用バーアンテナは内蔵されておりません。

AM ラジオを受信される際には対応するアンテナをご用意ください。

💡 屋外アンテナを使用することで、遠くの電波をとらえることができますが、近くの強力な電波（FM 放送波など）の影響で抑圧を受けてしまい、受信したい電波が正常に受信できなくなる場合には、本機のアッテネータを ON することで改善できることがあります。



アッテネータ機能

【操作】

[MENU] [9 OPT] [2 ATT] 押した後に[ダイヤル]で ON 選択後

[ENT]押して[9 OPT.PARAM STE]を押して決定

SD カードスロット

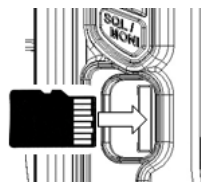
micro SD カード(SDHC 32GB まで対応)

図を参考に向きを確認して奥まで差しこんでください。

外す時は再度押し込むとロックが解除され、抜き取ることができます。

下記の用途に使用します。

- ・ 受信音声の録音/再生
- ・ サーチデータ、メモリチャンネル等のバックアップ
- ・ ファームウェアデータの更新



お使いになる前に 4

イヤホン端子

市販のイヤホンが使用できます。

端子形状 φ3.5mm ステレオタイプ（左右から同じ音声が出力されます）

💡被覆部の外形がφ9mm 以内のプラグをご使用ください。

ご使用のプラグによっては奥まで差さらず音がでない場合があります。

φ9mm 以内



💡イヤホンをご使用の際には、音量にご注意ください。

スクレチの動作音や、クロック音等が発生する場合がありますが故障ではありません。

FM 放送帯（64MHz～108MHz）では「イヤホンアンテナ機能」が使用できます。

イヤホンアンテナを有効にする

受信周波数を FM 放送帯、復調モードは A-AUTO

【操作】

[MENU] [9 OPT] [3 EAR ANT.] の順に押して、ダイヤルを回して ON を選択

[9]を押して変更を確定

💡FM モード、IFBW=100kHz または「A-AUTO」の場合に限りイヤホンアンテナが使用できません。

mini USB 端子

下記の用途に使用します。

- ・外部からのコマンド制御
- ・「Update Support ユーティリティ」を使用したファームウェア更新

（パソコンからファームウェア更新の操作を行うことができるソフトウェアです。本機操作でファームウェア更新作業が正常にできなくなった場合に使用します。）

💡「Update Support ユーティリティ」ダウンロード URL

<https://www.aor.co.jp/media/p1740/>

基本操作 1

電源を入れる

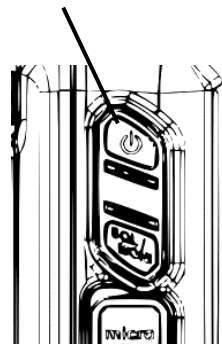
【操作】

本体左側面の[電源スイッチ]を押す。

「AR-DV10 START」と表示され、約 5 秒後に起動します。

💡 バッテリーを装着すると自動で電源が入ります。

電源スイッチ



電源を切る

【操作】

本体左側面の[電源スイッチ]を 1 秒以上長押しして離す。

「AR-DV10 SHUTDOWN」と表示され電源が切れます。

💡 シャットダウン時に最後の状態を記憶します。

日時設定

設定した時刻は、時計表示の他に SD カード録音のファイル情報に記録されます。
月に一回程度を目安に再調整してください。

【操作】

- ① [MENU] [6CLK] の順に押すと時計設定画面が表示
- ② 年-月-日 時-分の順に[10 キー]で入力します。
- ③ [ENT]を押すと確定して時が刻み始めます。

基本操作 2

コンフィグメニュー

本機のシステム設定が行えます。

【操作】

[MENU] [7 CONF]の順に押すとコンフィグメニューが表示

[◀ ▶]で項目変更、[ENT]キーで選択後[ダイヤル]で設定

変更、[ENT]確定 または、[左キー] 決定して戻る

[0]次ページ [.]前ページ



項目	説明	備考
BEEP	ピープ音（操作音）量の設定 00~15	説明書 67 ページ
VOL ATT	音量の減衰量の設定 00~11	
CONTRAST	液晶コントラストの設定 00~40	
BACK LIGHT	バックライトの設定 OFF / CONT（常時）/AUTO	
SQL SKIP	録音時のスケルチ連動設定 ON / OFF	
RES.CODE	リモート制御時のリザルトコードの有無	
PROTECT	ラストワンス機能 OFF=有効/ON=無効	
RF-GAIN	CW/SSB/AM 時に AGC を OFF にした時に有効	
SAVE TYPE	録音時の保存形式の選択 AUDIO/DISC./IQ	初期 AUDIO
LOG REC	録音時の受信ログ設定 SAVE TYPE=AUDIO 時に有効	
XTAL OFFSET	内部水晶のオフセット調整	
POWER SAVE	間欠受信により電池消費を低減 ON / OFF	ON 時画面左上がグレー表示
SOUND GAIN	音量の増幅度を調整 1.00~15.94	
AUTO REGION	地域設定 USA / JAPAN / EURO.	アナログオートモード対象
SYSTEM RESET	メモリーデータ以外の初期化	
FULL RESET	全てを初期化（メモリーデータ含む）	
FIRM	ファームウェアバージョンの表示	説明書 67 ページ
SER.	製造番号の表示	
SYS. UPDATE	ファームウェアの更新	

💡LOG REC で記録した録音データは専用ソフト LOG EXTRACT で音声の再生や受信ログの表示ができます。 <https://www.aor.co.jp/media/p2059/>

基本操作 3

音量調整

受信音声の音量を調整できます。

【操作】

上部の音量つまみを回して調整

💡ピープ音（操作音）も同時に変化します。

💡音量を 0 にしてもわずかに聞こえますが故障ではありません。



音量調整について

音量つまみは 16 段階です。お好みの音量にならない場合はコンフィグメニュー内の「VOL ATT」または「AF GAIN」を調整してください。

（前項 コンフィグメニュー参照）

オートモード

本機には 2 種類のオートモードが搭載されています。

【操作】

[MODE]を押して表示される 復調モード一覧から選択

A-AUTO アナログオートモード

周波数を入力するだけで、復調モードや IFBW、ステップなどを自動で設定する機能です。

（前項 コンフィグメニュー内 AUTO REIGION 設定が JAPAN になっていることを確認）

AUT1 デジタルオートモード（DCR,D-STAR,DMR など）

受信電波を解析して自動でデジタルモードを選択します。

💡TETRA（T-TC,T-DM）は除きます。

💡デジタル簡易無線（D-CR）の秘話コードを調べる機能（POWER 押し）を使用する場合は D-CR を選択してください。AUT1 では動作しません。

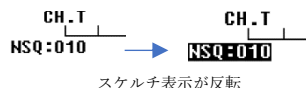
基本操作 4

スケルチ調整 (ノイズスケルチ NSQ)

電波を受信していない時のノイズ音を消す機能です。
電波を受信するとスケルチが開いて音声が出力されます。
サーチやスキャン動作でもスケルチを利用するため最適な設定が必要です。

【操作】

- ① 左側面にある[SQL]キーを押す
- ② 上部のダイヤルを回してノイズ音が消えるまで
スケルチ値を変更する。
- ③ 左側面にある[SQL]キーを押して終了



💡 デジタル復調モードではノイズ音が出ません。

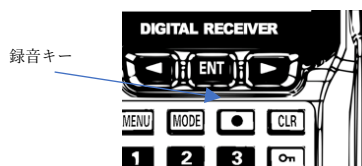
サーチおよびスキャンの動作がスムーズに動作する最低値に設定してください。

録音

SD カードに受信音声进行録音することができます。
予め microSD カードを装着してください。

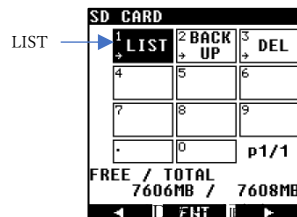
録音

- ① 録音開始： 録音キーを押す
画面上部に REC と表示
- ② 録音終了： 録音キーを再度押す



再生

- ① 録音キーを長押し SD カード画面表示
 - ② [1 LIST]を押す ファイルリスト表示
 - ③ [◀ ▶]で録音ファイルを選択
 - ④ [ENT]キーを押すと再生
- 💡 上部の音量つまみで再生音量が調整できます。



VFO モードで受信する

特定小電力無線を受信する

例：422.050MHz_FM_IFBW 15kHz_STEP 12.5kHz_TONE 71.9Hz

【操作】

① [MENU] [1 VFO] [3 Z]の順に押すと VFO モードが表示

② 受信周波数の入力

[10 キー]から[4] [2] [2] [.] [0] [5] [ENT]の順に押す

③ 復調モードの選択

[MODE]を押すと MODE 選択画面が表示

[ダイヤル]または[◀ ▶]で FM を選択後[ENT]を押す

④ IFBW の選択

[MODE]長押しすると Ext.MODE 画面が表示

[4 IFBW]を押すと IFBW 選択画面が表示

[◀ ▶]で 15k を選択後[ENT]を押す

⑤ 周波数 STEP の選択

[MENU] [9 OPT]の順に押すと MENU-OPT 画面が表示

1 STEP 項目で[ENT]を押すと STEP が反転表示される

[ダイヤル]を回して 12.5 k を選択後[ENT]を押す

[9 OPT. PARAM SET]を押す (必須)

⑥ トーンスケルチの設定

[MENU] [1 VFO] [8 VFO EDIT]の順に押すと

VFO EDIT 画面が表示

[▶]を押して 2 SQL TYPE にカーソルを移動して

[ENT]を押す

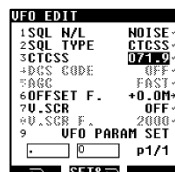
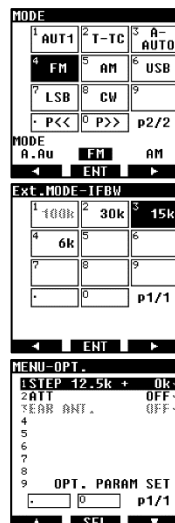
[ダイヤル]を回して CTCSS を選択後[ENT]を押す

カーソルが CTCSS に移動[ENT]を押す

[ダイヤル]を回して 71.9 を選択後[ENT]を押す

(SRCH を選択すると受信時に自動でトーン周波数を選択します)

[9 VFO PARAM SET]を押す (必須)



プリセットメモリーで受信する 1

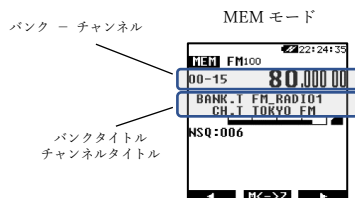
出荷時に登録されているメモリーデータを使用して受信してみましょう。

FM 放送を受信する MEM モード

例：メモリバンク 00 FM RADIO 1 を使用

【操作】

- ① [MENU] [2MEM] [1 EXEC]の順に押すと
MEM モードが表示
- ② [◀ ▶] または[0] [2]と押してメモリ
バンク 02 を選択
- ③ [ダイヤル]を回して受信できるチャンネルを選択



スキャン機能で放送局を探す場合

[.]キーを押すと MEM モード⇄SCAN モードの切り替えができます。
スケルチが有効な状態でスキャンが開始されます。

💡BANK 00 と 01 に全国の主な FM 放送局が登録されています。

VHF 帯エアーバンドをサーチする

サーチバンク 02 AIR BAND_VHF を使用

【操作】

- ① [MENU] [4 SRCH] [1 EXEC]の順に押すと SER
モードが表示
- ② [◀ ▶] または[0] [2]と押して、サーチ
バンクを 02 に設定
- ③ [SQL]キーを一度押して[ダイヤル]を回しスケルチ
が効く（ノイズが消える）まで時計方向に回す。（NSQ 5~10 くらい）
サーチが開始され、電波があると停止して音声を出します。
ノイズ等が原因で停止してしまう場合はスケルチを深く設定し直してください。



プリセットメモリーで受信する 2

出荷時に登録されているメモリーデータを使用して受信してみましょう。

デジタル簡易無線（登録局）をサーチする

例：サーチバンク番号 19 D-CR_351M を使用。

【操作】

- ① [MENU] [4 SRCH] [1 EXEC]の順に押すと SER モードが表示
- ② [◀ ▶] または[1] [9]と押して、サーチバンクを 19 に設定
- ③ [SQL]キーを一度押して[ダイヤル]を回しサーチが動作する値（NSQ 5～10 くらい）に調整する。

サーチが開始され、電波があると停止して音声を出します。

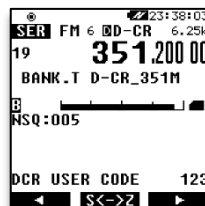
💡本機が対応するデジタル簡易無線は AMBE 方式のみです。



ユーザーコード（UC）について

ユーザーコードが使われている通信の場合は受信時にユーザーコードが表示されます。

💡本機ではユーザーコードは無視して全てを受信します。



秘話コード（DCR ENC C.）について

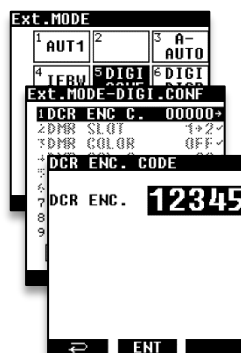
秘話化された通信は秘話コードが一致しないと正常な音声になりません。

秘話コードの指定方法

- ① [MODE]キーを長押しすると、Ext. MODE 画面が表示
- ② [5] DIGI CONF を押すと DIGI CONF 画面が表示されます。
- ③ [1] DCR ENC C. を選択して[ENT]キーを押すとコード入力画面が表示
- ④ [10 キー]で 5 桁の秘話コードを入力後、[9]DIGI .CONF SET を押して決定（必須）

💡秘話コードを調べる場合は、受信中に[POWER]キーを 1 回押してください。

💡秘話機能が強化された強化秘話通信は非対応



プリセットメモリーで受信する3

出荷時に登録されているメモリーデータを使用して受信してみましょう。

盗聴器をスキャンする

例：メモリバンク03 TOUCHOU を使用

【操作】

- ① [MENU] [3 VFO] [1 EXEC]の順に押すと SCAN モードが表示
- ② [◀ ▶]または[0] [3]と押してメモリバンク番号 03 を選択
- ③ [SQL]キーを一度押して[ダイヤル]を回しスケルチ

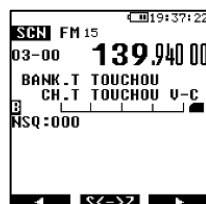
が効く（ノイズが消える）まで時計方向に回す。（NSQ 5~10 くらい）

スキャンが開始され、電波があると停止して音声を出力します。

ノイズ等が原因で停止してしまう場合はスケルチを深く設定し直してください。

💡次ページで登録したメモリチャンネルも同様にスキャンできます。

💡[.] キーを押す度に【SCAN】 ⇄ 【MEM】 モード切り替え



メモリチャンネル

メモリチャンネルを登録する

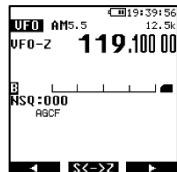
例：メモリバンク 08 チャンネル 00 に東京 APP を登録する
119.100MHz AM IFBW5.5kHz

【操作】

- ① VFO モードで 10 キーから 119.1 入力後[ENT]を押す
- ② [MODE]を押してから[◀ ▶]で AM を選択後[ENT]を押す
- ③ [MODE]長押し後、[4 IFBW]を押してから[◀ ▶]で 5.5kHz 選択後 [ENT]を押す

この状態をメモリ登録する

- ④ [ENT]長押しするとメモリチャンネル登録画面が表示
- ⑤ 1 BANK-CH にカーソルがある状態で[ENT]を押すと
バンクーチャンネル入力画面が表示 0800 と入力
- ⑥ メモリチャンネルテキストを入力する
 - 1 [7]T を押すとチャンネル入力画面が表示
 - 2 各キーに英数字が割り当てられているため画面を参考に入力する
TOKYO APP の場合
[7]1 回 [5]3 回 [4]2 回 [8]3 回 [5]3 回 [▶]2 回
[1]1 回 [6]1 回 [▶]1 回 [6]1 回 入力後に[ENT]押す
- ⑦ 以上の内容を保存するために [9 MEM CH PARAM SET]を押す（必須）



💡上記の VFO からコピーする方法以外に、チャンネルエディット（[MENU][2MEM][8CH EDIT]）でも全ての設定を登録することができます。

💡サーチで電波を見つけた場合、[ENT]を押して VFO にコピーしてから上記方法でメモリチャンネルに登録することもできます。

ショートカット機能

お好みの操作（長押し含む）を9種類まで登録することができます。
使用頻度が高い機能を登録しておく便利です。

ショートカットを登録する

例：ショートカット1に「STEP 設定」を登録する

【操作】

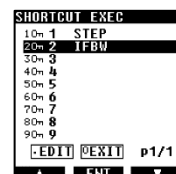
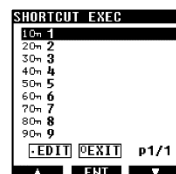
- ① [キーロック]を押すとショートカット画面が表示
- ② [.] [1 CREATE SHORTCUT]の順に押す
- ③ 登録するショートカット番号1を選択して[ENT]を押すと登録スタート（画面左上に鍵マークが点滅）
- ④ [MENU] [9 OPT] [ENT] の順に押す
- ⑤ [キーロック]を押すとショートカットタイトル入力画面が表示
画面を参考にタイトルを入力して[ENT]を押す
[CLR] 1文字削除 [10 キー] 文字入力

💡[キーロック] [.] で表示される画面で、タイトル編集や削除がいつでもできます。

ショートカットを使用する

【操作】

- ① [キーロック]を押すとショートカット画面が表示
- ② 使用したいショートカット機能を選択して[ENT]を押す
事前に登録した操作が実行されます。



プリセットメモリーデータ (出荷時データ)

サーチデータ SER

サーチモードの表示方法：[MENU][4 SRCH][1 EXEC]の順に押す

BANK	LOW_FRQ	HI_FRQ	MODE	IFBW	STEP /ADJ	OFFSET	TEXT
00	76.100000	89.900000	FM	100k	100k		FM_RADIO
01	90.100000	94.900000	FM	100k	100k		FM_HOKAN
02	118.000000	142.000000	AM	6k	25k		AIRBAND_VHF
03	460.000000	462.000000	T-TC	30k	25k		AIRPORT T-TC
04	225.000000	400.000000	AM	6k	25k		AIRBAND_UHF
05	154.450000	154.610000	FM	15k	20k /+10k		CR154M(FM)
06	465.037500	465.137500	FM	15k	12.5k		CR465M(FM)
07	468.550000	468.850000	FM	15k	12.5k		CR468M(FM)
08	156.050000	157.400000	FM	15k	50k		MARINE_SHIP
09	160.625000	162.025000	FM	15k	50k		MARINE_COAST
10	380.212500	381.312500	FM	15k	12.5k		TEL
11	422.050000	422.300000	FM	15k	12.5k		TOKUSHO_TAN
12	421.575000	421.912500	FM	15k	12.5k	+18.45MHz	TOKUSHO_FUKU
13	440.025000	440.362500	FM	15k	12.5k	-18.45MHz	TOKUSHO_FUKU
14	423.000000	424.175000	FM	15k	12.5k		RACE
15	466.350000	466.550000	FM	15k	12.5k		FIRE_466M
16	144.000000	146.000000	D-AUTO		10k		144M_HAM[D]
17	430.000000	440.000000	D-AUTO		10k		430M_HAM[D]
18	154.443750	154.612540	D-CR	6k	6.25k		D-CR_154M
19	351.200000	351.381250	D-CR	6k	6.25k		D-CR_351M
20	467.000000	467.400000	D-CR	6k	6.25k		D-CR_467M
21	166.528125	166.896875	D-CR	6k	6.25k /+3.12k		HOUSOU_IDOU
22	168.528125	168.896875	D-CR	6k	6.25k /+3.12k		HOUSOU_KICHI
23	367.400000	368.000000	DMR	15k	12.5k		CHIIKISHINKO
24	413.550000	413.600000	DMR	15k	12.5k		GYOUMU[D]

メモリチャンネル MEM / SCAN

スキャンモードの表示方法：[MENU][3 SCAN][1 EXEC]の順に押す

BANK	TEXT
00	FM_RADIO1
01	FM_RADIO2
02	COMPANY FIRE / Dr HERI / Heli TV
03	TOUCHOU (盗聴波)
04	BUS MUSEN1
05	BUS MUSEN2
06	JIETAI
07	K-LAMBDA

💡プリセットメモリーデータはAR-DV10 製品ページからダウンロードすることができます。

<https://www.aor.co.jp/receiver/product/ar-dv10/>

株式会社 **エーオーアール**

〒111-0055 東京都台東区三筋 2 - 6 - 4

www.aor.co.jp/

©2022 AOR, LTD.

AR-DV10-2022D-PP